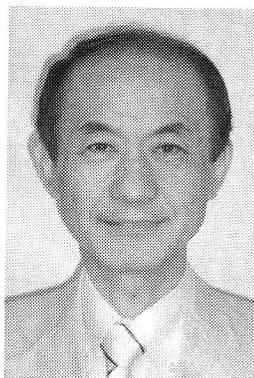


ペットのアレルギー症状解消

免疫系利用し治療法確立

大 日

ペットのアレルギー症状を体質から治します。日本大学の桑原正人准教授が考案した動物に対するアレルギーの治療法が、今、じわじわと評判を呼んでいる。免疫のバランスを調整することでアレルギー症状を解消。ペットの血液を分析するだけで治療方針を示せ、遠隔地のペットの診断・治療も可能だ。さらに研究が進めば、人間への応用も期待できるかもしれない。(吉水暁)



桑原正人日大准教授

桑原准教授は、アレルギーが原因の皮膚炎、リウマチ。原因のはっきりしない慢性疾患に悩まされる現代人と同様、ペットもがんやアレルギーにかかるケースが増えている。人間と同じくなかなか治らず、つらそうなお表情を見せるイヌやネコが動物病院に列をなしているという。こうした現状を打開すべ

血液分析だけで診断

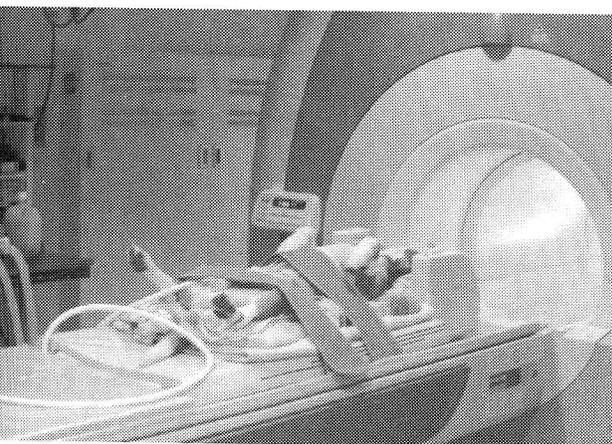
人間への応用に発展も

免疫細胞に注目
がん、アトピー性皮膚炎、リウマチ。原因のはっきりしない慢性疾患に悩まされる現代人と同様、ペットもがんやアレルギーにかかるケースが増えている。人間と同じくなかなか治らず、つらそうなお表情を見せるイヌやネコが動物病院に列をなしているという。こうした現状を打開すべ

そもそもアレルギーとは、免疫の異常により自分の体を攻撃してしまっただけの結果、生じる。桑原准教授は、リンパ球の一種

とされる細胞分泌液に注目。サイトカインの種類によりThをTh1、Th2、Th3に分類し、アレルギー症状との関係性を調べたところ、Thの体内バランスが崩れることでアレルギーやリウマチを発症すること突き止めた。さらに、Thのバランス

を元に戻すことで、症状が治まる。この治療法は、とくにアトピー性皮膚炎に対して高い効果を発揮する。例えば、10年間アトピー性皮膚炎に苦しんでいたイヌから採血し、血液中のリンパ球を分析する「Th生体反応検査」を実施。バランスを正常化する薬を処方したところ、3カ月も経ずに



アレルギーがかゆみを起こす仕組み



高効率を発揮
加えて、桑原准教授は、アレルギーは年齢に応じ症状が変化していくと説く「アレルギー・マーチ」という考え方を導入した。アトピー性皮膚炎、ぜんそく、花粉症や

治療の一層の実用成果の精度向上を目指し、桑原准教授は05年7月ベンチャーとして、リム（東京都千代田市）に設立。同社は全国のから病気にあつて、血液サンプルを採取し、Th生体反応検査の進捗に合わせた治療法を用い、整

治療の一層の実用成果の精度向上を目指し、桑原准教授は05年7月ベンチャーとして、リム（東京都千代田市）に設立。同社は全国のから病気にあつて、血液サンプルを採取し、Th生体反応検査の進捗に合わせた治療法を用い、整

Th1 Th2 Th1 Th2